

設置の際のご注意

家具を設置する際、設置場所の状況によっては家具本体に傾きが生じて、扉を閉めた時に隙間の大きさに違いが出たり、扉がきちんと閉まらなくなる場合があります。

家具の一部がカーペットの上に載ったり、異物が挟まっていないかをご確認ください。

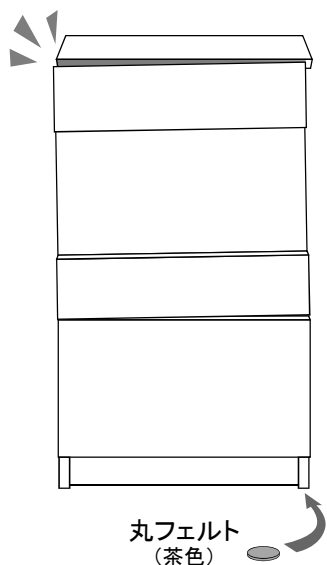
正常な設置状態でも隙間に違いが出る場合は、下図を参照して、家具本体の傾きを調節してください。

ご理解ください

家具の材料である木は、湿度によって大きさ・形が変化します。そのため、各部品をぴったりと隙間なく作った場合、湿度が高い日が続いたりすると木が膨らんで、引出しや扉の開閉ができなくなってしまいます。このような事を防ぐため、木が変化しやすい所には隙間をあらかじめ作っていますので、『隙間があること』は正常な状態です。
湿度が高いと、この隙間が無くなってしまう場合もありますが、湿度が下がれば徐々に元の状態に戻ります。

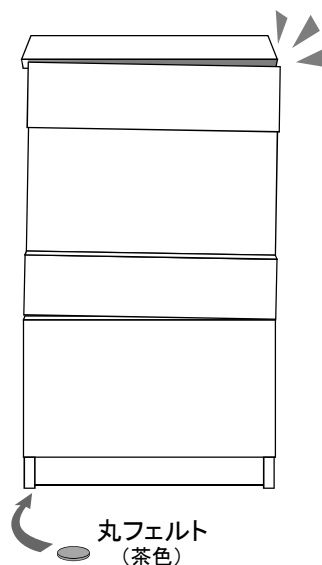
■ 扉の左側が下がっている場合

家具を正面から見て、本体の右前位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼って(敷いて)ください。
扉の傾きに変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってみてください。



■ 扉の右側が下がっている場合

家具を正面から見て、本体の左前位置の裏面に、添付の丸フェルトを貼って(敷いて)ください。
扉の傾きに変化がない時は、フェルトをさらに2枚・3枚と重ねて貼ってみてください。

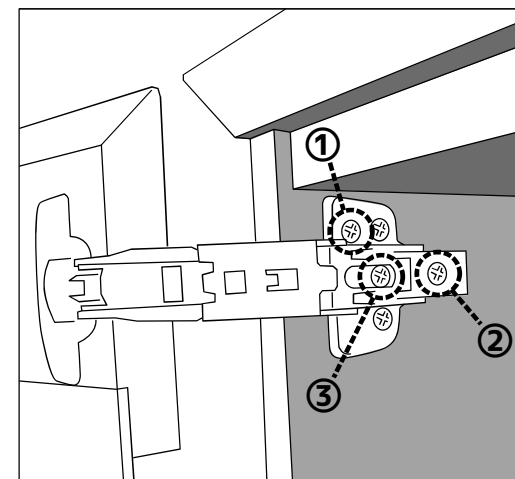


扉丁番金具の調節

左に示した方法でも扉の傾きが直らない場合や、扉が最後まで閉まらない場合は、下図の要領で丁番金具の調節が可能です。

※作業の前に、プラスドライバーをご準備ください。

※ 調節することで、さらに不具合が発生する場合があります。一気に変更せず、扉の具合を見ながら少しずつ調節してください。



- ①上下調節ネジ
- ②前後調節ネジ
- ③左右調節ネジ

※①～③以外のネジは、扉が脱落する場合がありますので、さわらないでください。

【50キャビネット L】の場合

①のネジで、扉の垂直方向の位置調節ができます。あまり使いません。

②のネジで、扉の前後方向の位置調節ができます。扉が閉まらない場合は前に出してみてください。

③のネジを、上下2箇所のだ番で異なる方向に動かせば、傾きの調節ができます。最も使う場面が多いネジです。